

先生方からのメッセージ

5月19日(火)

担当	先生からのメッセージ
3学年 主任	<p>みなさん、こんにちは。5月11日と18日に臨時登校があり、みなさんと顔を合わせる事ができました。久しぶりに元気な様子を見る事ができ、とても安心しました。宮城県においても緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常生活を取り戻しつつあります。船迫中学校でも、今月21日から時差登校をすることになりました。「3つの密」を避け、換気や手洗い・うがいをしっかり行うよう呼びかけながら、環境を整えていきたいと思えます。</p> <p>各国では、新型コロナウイルス感染症の治療薬やワクチンの開発に力を注いでいますが、早く実用化されることを願うばかりです。こんなときにドラえもんがいてくれたらなあと思いませんか？今から50年前の1970年に『ドラえもん』の連載がスタートし、これまで、1600種類以上のひみつ道具が登場したそうです。実際に実現した道具もあり、科学技術の発達に期待が高まっています。さて、新型コロナウイルスの感染を食い止めるのに効果的な道具は何でしょうか？歴史上の様々な発明や発見は、机に向かってるときよりは、むしろ家でごろごろしていたり、風呂に入ったりしているときに生まれてきたといわれています。みなさんが今、家で色々なことを考える時間が、未来の夢の道具につながるかもしれません。</p> <p>それでは、また。21日に再会するのを楽しみにしています。</p>
主事 (事務)	<p>臨時休業になり、自粛生活も気づけば2か月半が経ちました。みなさんも友達や先生方と一緒に過ごす学校生活を心待ちにしているのではないのでしょうか？</p> <p>昨日、一週間ぶりにみなさんが登校してくる姿や、校舎に響く賑やかな声を聞いて、とても安心しました。というのも、生徒がいない学校は本当に、びっくりするくらい静かだからです。(ビビリなのでその静かさが少し怖いくらい!!!)事務室の窓からの日差しも、電気の明るさも変わっていないのに、何か暗く物足りない気がしていました…。みなさんの元気で明るい声に毎日パワーをもらっていたんだなあと改めて実感しています。</p> <p>ところでみなさんはこの自粛期間をどう感じていますか？理由は色々あると思いますが、辛いと感じている人が多いと思います。自粛期間だけでなく普段生活している中でも少なからず辛いな、しんどいな…と感じる時があるはず。私ももちろんあります。そんな時、いつも頭に浮ぶ歌詞を紹介します。</p> <p>『目の前を塞いでいるのは 壁じゃなくて扉なんだ』</p> <p>今は世界中でこの大きくて分厚い扉の鍵を開けようと、沢山の人が知恵を絞っています。私たちもひとりひとりが感染予防に努めることも、扉を開ける鍵の一部になるはず。いつか当たり前の日々を過ごせる日が来るまで、もう一踏ん張り、力を合わせて頑張りましょう!!!</p>

読書のすすめ

担当	メッセージ（読書の良さ・お勧めの本など）
3年2組担任	<p>幼い頃に読んで、とても印象に残っている「わすれられないおくりもの」という絵本について書こうと思います。</p> <p>この話は、主人公のアナグマが「長いトンネルの向こうに行く（亡くなる）」ことから始まります。長いトンネルの向こう側に行ったアナグマは、森の動物たちにたくさんの贈りものをしていました。はさみの使い方、スケートの滑り方、お料理の仕方…。贈りものは、楽しいゲームでもおいしいお菓子でもなく、知識や遊び方や工夫すること、つまり、形には残らないけれど身体に染みついて絶対に忘れないものでした。アナグマは残された動物の生活に、豊かさや楽しさを残してくれていたのです。生活していくためには、お金や物が必要だけれど、それだけでは幸せになれるとは限りません。本当の幸せとは？本当の贈りものとは？そんなことを教えられた気がしました。</p> <p>今回、町から図書カードが配布されました。それで、みなさんの心に残る本に出会えることを願います。</p>